

特集論文の公募のお知らせ

2021 年度日本選挙学会査読委員長

森 裕城

2022 年度日本選挙学会編集委員長

奥 健太郎

○特集「2021 年衆議院総選挙」

2021 年は衆議院総選挙が実施される年にあたります。近年の国政選挙は安倍内閣の下に実施され、「安倍一強」体制を後押しする結果がもたらされました。しかし、今回の 2021 年総選挙はポスト安倍内閣の初の国政選挙であり、どのような選挙戦が繰り広げられ、どのような結果がもたらされるか大いに注目されます。

実は「2021 年衆議院総選挙」は、2022 年度日本選挙学会研究大会の共通論題としても、取り上げられる予定になっております。しかし同選挙は、学会員のみならず社会的にも大きな関心と呼ぶ研究テーマでもありますので、2022 年度第 2 号の『選挙研究』（2022 年 12 月刊行予定）の特集とし、多様な研究手法、問題関心、アプローチからの論文を数多く掲載できればと考えております。そこで会員の皆様からの積極的な投稿をお願いしたく、ここに論文を公募したいと思います。

日本選挙学会の存在感を世の中に発信するためにも、会員の皆様の投稿をぜひともお願いいたします。なお、2020 年より「資料論文」というカテゴリーも新設されておりますので、このカテゴリーでのご投稿も合わせてご検討ください。

投稿締切日 2022 年 2 月末日

投稿要領、執筆要領は以下をご参照下さい。

<https://www.jaesnet.org/download/rules/JJES20200519.pdf>

○ 査読スケジュールについて

現在、選挙学会は『選挙研究』論文投稿システムを通じて、投稿を受け付けています。受付終了後、査読委員会では、電子メールを用いた審議等を通じて、適宜、匿名査読者の選定、ならびに 査読依頼をしております。したがって投稿から最初の査読結果が戻るまでに要する時間は、当該論文の完成度にもよりますが、約 3 ヶ月程度です。修正・再査読の場合、査読結果に応じて再投稿がなされてから、最終結果が出るまでにやはり数ヶ月程度かかります。修正・再投稿に要する時間にもよりますが、最初の投稿から最終結果の確定まで、最短で 6 ヶ月から 7 ヶ月の時間がかかると予想されます。

したがって、今回の公募の特集について 2022 年 2 月末日までに投稿し、スムーズに査読と修正が進んだ場合、2022 年 8 月末までの入稿が可能となり、第 2 号に掲載されることとなります。しかし、再修正に時間を要した場合、必ずしも第 2 号の特集での掲載が保証されるわけではないことをご理解ください。

なお、査読を経て掲載が決定した論文につきましては編集委員長名で掲載決定の証明書をお出しすることが可能です。